

「金沢・犀川大橋」

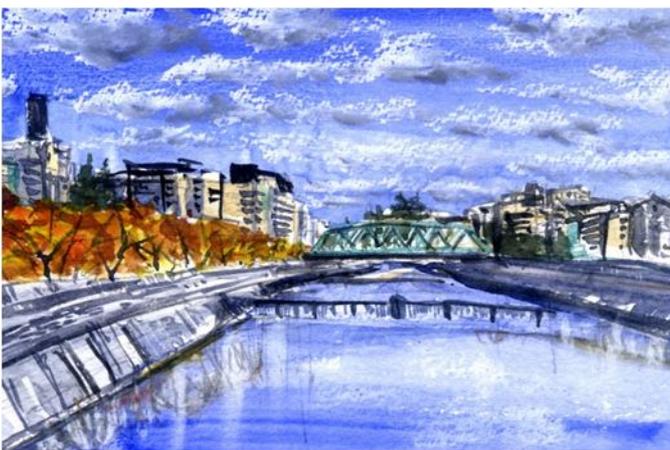
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

金沢に出張に来ている。北陸へ来るのは久しぶりである。以前は、金沢といえば、東京から行きにくい都市の一つだった。寝台特急に乗って、一晩かけて行ったものである。しかし、北陸新幹線の開業で、面目一新した。東京駅を出たのが 18:24。金沢駅に到着したのは 20:56 である。その間、2 時間半！本当に「近くなった感」が大きい。

金沢駅の改札で、金沢大学の先生にお会いした。スタバでなつかしくお話させていただき、その後、私のわがまを聞いてもらった。夜の犀川大橋まで、カッコイイ四駆で、案内していただいたのである。下写真は、「金沢一の繁華街・香林坊の夜景」。



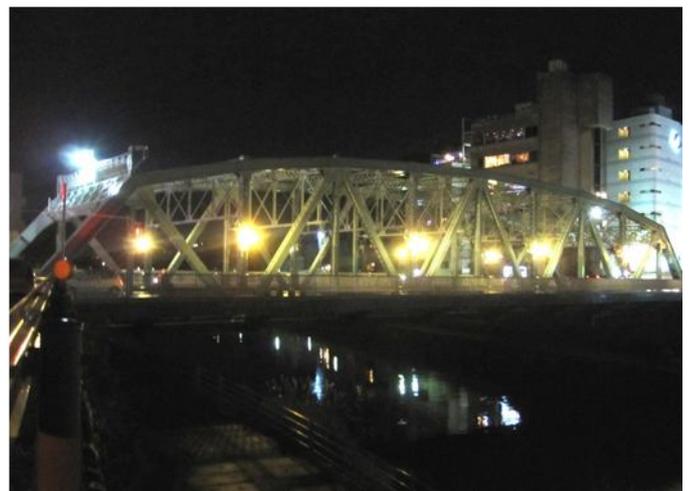
犀川（さいがわ）は、金沢市の真ん中を流れる二級河川である。その犀川にかかる橋が「犀川大橋」である。昼の犀川大橋は見たことがあるが、夜景はまだ見たことがない。絵は「犀川と犀川大橋」。



現在の犀川大橋は、大正 13 年に建造された。その後何度も改修されたが、基本的な躯体は、当時の形状を留めている。実に 100 年近く、金沢の南北をつなぐ、交通の要を担ってきた。金沢一の繁華街「香林坊」にも近く、現在でも金沢一重要な橋といえる。



写真は「犀川大橋」を南側から見たところである。渡った先が「香林坊」である。隅田川の永代橋に似ている。梁の形状から、路面電車の架線があったのではないかと推理した。調べてみると、やはり、昭和 42 年まで路面電車が走っていた。



橋の脇の小道に車を停めてもらって、夜の橋の全景を撮影した。美しい橋だ。最近作られた橋に、このような造形美は、なかなか感じられない。この美しさと歴史的な価値から、犀川大橋は、平成 12 年に「登録有形文化財」に指定されている。

明日の金沢は雨のようだ。しかし、この橋をバスで渡る。もう一度見られるのが、楽しみである。